

東区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
第19回東区民まつり事業		東区ふれあい事業実行委員会 東区民まつり運営委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	R4	R5	R6
区民の親睦と連帯、並びに健康意識の高揚を図る。 また、区民相互のコミュニティ活動の輪を広げることにより、明るく住みよい、安全・安心・快適なまちづくりの推進の一助とする。	・区民の相互交流の促進 ・住みよい安全・安心なまちづくりに向けた地域コミュニティの一層の醸成 ・地域の魅力向上や活性化への寄与	来場者数	新型コロナウイルスの影響により中止	21,000人	24,000人
		配信映像視聴回数		438	245
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 東区で開催する最大規模のイベントであり、まつりを通して区民の親睦と連帯の高揚や、安全安心、また地域の魅力等を再考する貴重な機会となることから、今後も継続して実施する妥当性が高い事業であった。	◎ 地域の方を中心に構成される運営委員会等と事務局を担う行政との間で協議を重ね、企画の検討や当日運営を実施しており、区民と行政が共に進める事業として評価できる。	◎ バスケットボール3X3大会の開催、テラノサウルスレースなど区民参加型のイベントを多数企画のほか、プロスポーツ選手の起用などインパクトの強い事業となった。また、開催内容を後日ご覧いただけるよう動画配信も実施した。	○	各校区には、東区民まつりの費用面での負担だけでなく、企画の考案、準備まで携わっていただいた。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 地域の方が企画の考案から当日の運営に至るまで大きな役割を担う一方、各種団体との調整や広報等については広く周知を図る必要性があり、行政において担う方が適切であることから協働によることが望ましい。	○ 今年度も地域の方にまつりの企画段階から携わっていただいた。区民まつりから従来の開催内容を取り戻しつつも、ステージの廃止や新たに区民参加型の多彩なアクティビティや防災の体験メニューなどを採り入れ、新しい区民まつりのかたちで実施することができた。晴天により天候にも恵まれ、24,000人の方々にご来場いただき成功裏に終えることができた。また、後日開催内容の動画配信を行い、広く内容を知ることができるよう努めた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	今回の区民まつりは、当日を晴天で迎えられたため、従来の開催方法での実施となり多くの方にご来場いただいたが、今後も天候に応じた催しや出展内容を検討するなど、さらに来場者から好評をいただけるよう東区民まつり運営委員会を中心に企画・立案を行う必要がある。 また、東区民まつりの開催についての問い合わせも寄せられていることから、区民の関心も高く定着したイベントであると考えられる。一方、従来通りの出展内容ではまつり会場一杯に各種団体等を配置しているため、今後は会場のキャパシティ等も鑑みながら、いかに区民のニーズにあったイベントとするかが課題となってくる。				